

① ～文化を売る店～

秋葉原や中野などで見るあの箱からインスピレーションを受けて
提案コンセプト
あの箱と空き不動産を活用することで、認知度の低さに悩む長野県の伝統的工芸品職人達と消費者の架け橋となる場を提供します。

②なぜ長野県なのか

県民の伝統工芸品の認知度が低く、信州打刃物や南木曾ろくろ細工などの優れた伝統的工芸品が十分に注目されていません。さらに長野県は都市部や農村部でも空き家率が全国で比べても高い傾向があります。これらの理由から改善の余地がある県なのです。

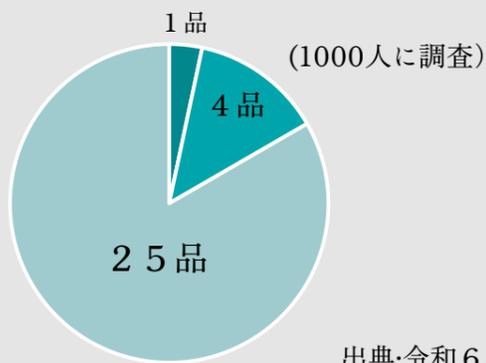


画像1引用元: 信濃町他言語サイト「長野県北部に伝わる伝統の技・信州打刃物」
(<https://shinanomachi-nagano.jp/wp/?p=272>) / 2025年8月3日閲覧
※本資料は研究・比較分析目的により、著作権法第32条に基づく正当な引用として使用しています。

画像2引用元: 伝統工芸青山スクエア「南木曾ろくろ細工」
(<https://kougeihin.jp/craft/0613/>) / 2025年8月3日閲覧
※本資料は・研究・比較分析目的により、著作権法第32条に基づく正当な引用として使用しています。

③長野県と日本の工芸品業界が抱える問題

長野県伝統的工芸品認知度調査



出典:令和6年度第3回 県政アンケート調査結果報告書

①長野県における伝統的工芸品の現状

長野県の約8割の伝統的工芸品は、県民の認知度が2割未満であり、その背景には発信力や販売戦略の弱さ、同県の広さが関係しています

②工芸品業界の縮小の原因

職人の仕入価格が長年上がり収入が低いため、将来への不安から後継者育成が進まない現状があり、縮小の原因の1つとなっている。

出典:玉川堂 [第144号] 未来に繋がる、伝統工芸に秘められた可能性

③問題的な市場構造

販売までに複数の業者を経由する流通構造のため、消費者の声やフィードバックが職人まで届きにくくなっている。

出典:玉川堂 [第144号] 未来に繋がる、伝統工芸に秘められた可能性

長野県にある店の現状

県内の店舗数は昭和56年の450店から令和29年度にかけては189店まで減少、空き店舗率は8.7%まで上昇していて、そのうちの約4割が店舗として利用する予定がない状況にある。そして景況感も低下していることがわかった。特に6割以上の人々が、高齢化や人口減少などを理由に、衰退していると感じている。

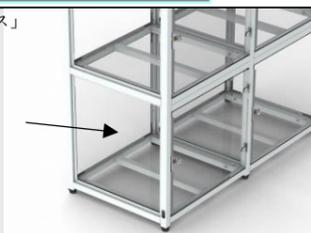
出典:松本市中心市街地活性化に関する 調査研究報告書 令和6年4月 松本市議会 経済文教委員会

これらの問題を解決できるあの箱の正体はレンタルショーケースという箱なんです

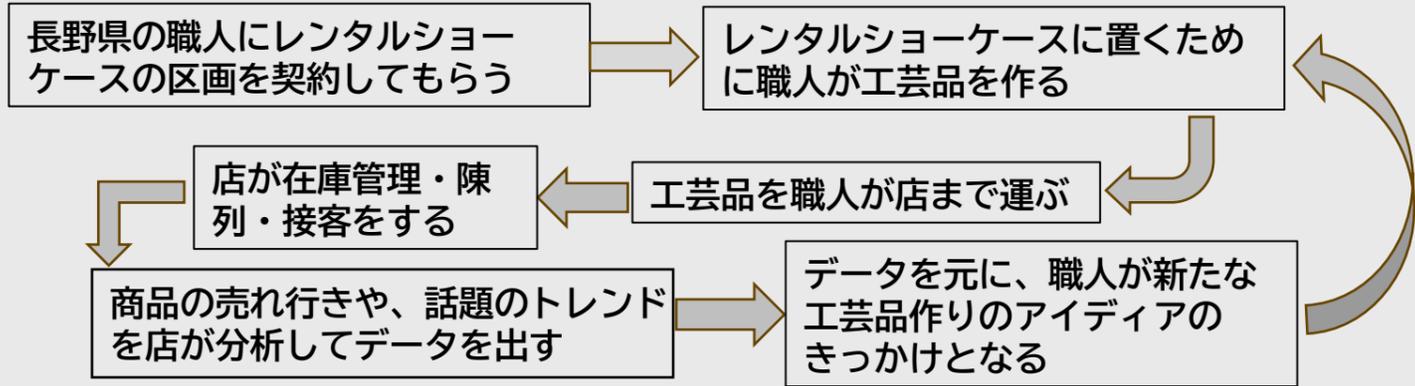
④レンタルショーケースとは

画像引用元:株式会社イワサキ「製品事例 レンタルショーケース」
(<https://custom-order-digital-signage.com/case/764>)
※本画像は批評目的の正当な引用に基づき使用しています。

店舗内のショーケースを個人や職人などが料金を払うことで借りられて、自身の作品や商品の展示・販売できる仕組みです。店側が販売や接客を代行することも多く、出店者は気軽に販売の場を持つことができます。直接取引できる場なので、作り手と消費者をつなぐ新しい販売方法です。



⑤レンタルショーケースの販売までの流れ



⑥レンタルショーケースを活用する事で業界に貢献できる事

職人たちが気軽に新たな販路を広げることが可能

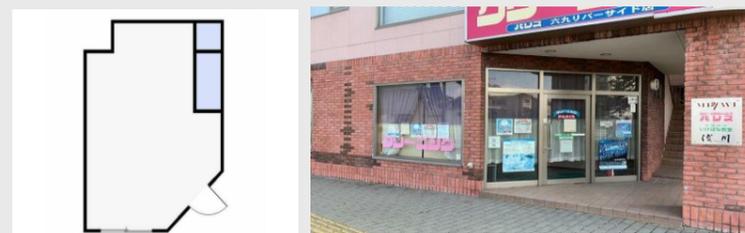
「レンタルショーケースとは」で説明したようにレンタルショーケースには従来の販売店や道の駅とは違い、自分の好きなように出品できる自由さがあり、さらに費用も安く抑えられるというメリットがあります。これらの理由から今まで②や③のような問題に悩んでいた職人たちが気軽にできる新たな販売経路を提供することが可能です。

職人と消費者が繋がる新たな場所の提供

従来は多くの企業を挟むことで、職人と消費者の間に壁がありました。しかし、レンタルショーケースでは個人同士で直接取引できるため、その壁をなくすことができます。さらに、店舗の従業員が売上データやトレンドを職人に共有したり、職人が店頭で作品を説明して消費者の声を直接聞く場をつくることも可能です。

⑦対象とする空き不動産の概要

松本駅から徒歩8分の商店街沿いにある好立地の物件で、松本市から1年間家賃の10～20%の補助が受けられます。しかし、約17畳と少し狭いのが難点ですが、レンタルショーケースはレジさえ確保できれば、箱を積むだけで簡単に運営できます。



画像引用元:アットホーム株式会社「松本市大手2丁目(松本駅)の貸店舗」
(https://www.athome.co.jp/rent_store/6974868867/?BKLID=002LPC&SEARCHDIV=1&sref=list_simple)2025年8月閲覧
※本資料は不動産広告表示の分析目的において、正当な引用として使用しています。

レンタルショーケースがもたらす物 (この提案がどのように豊かな暮らしを支えるのか)

この提案により、例で挙げたような長野県の伝統的工芸品の認知度が高まり、長野県だけでなく、全国の職人の抱える課題が解消され、後継者育成にもつながることが期待されます。さらに、消費者と職人の距離が縮まり、伝統技術が次世代へ継承されることで、長野県に限らず日本全体の暮らしを支えていくことができると考えています。